



ヒトハレハウスいっとこ グランドオープン!

人吉市^{かみしん}上新町の「キープ&ショップ」は、「令和2年7月豪雨」で被災し、相良町^{さがら}の仮設商店街で営業を続けてきました。このたび、上新町に複合施設「ヒトハレハウスいっとこ」が完成し、1月10日より「キープ&ショップ人吉」が営業をスタート。「子どもの居場所」と共に歩み始めました。2つの事業の担い手は「ワーカーズコレクティブ ヒトハレ」です。

グランドオープンのオープニングイベントと、昨年末に行われた「子どもの居場所 ひだまり」開所式の様子を紹介します。



ヒトハレハウス
Instagramは
こちらから

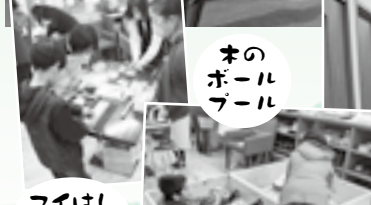
「ひだまり」入口

らぐがきの壁

「キープ&ショップ人吉」入口

1/28 オープニングイベント 時折、雪が舞う寒い中にモカかわらず、終始来場者で賑いました。

屋外のテントでは、メーカーの皆さんがグリーンコープ自慢の美味しいものを販売。キープ&ショップでは、スキンケアのカウンセリングも。「ひだまり」では、子どものあそび場やファイバーリサイクル市を開催。ご来場の皆さんは、買い物や食事などを楽しまれていました。キッチンカーで「ヒトハレ」キッチンスタッフによるお弁当の販売、スタンプラリーやガラポン抽選会も行われました。



木のボールプール



キープ&ショップ

回転まんじゅうやおでんなど、あったかメニューが大人気でした。

マイはし作り体験

「ひだまり」。畳のスペースやミニキッチンもあります。

キッチン

12/27 誰もがホッとできるあたたかな“ひだまり”のような居場所「子どもの居場所 ひだまり」開所式

人吉市長をはじめ来賓の方々に祝辞を賜り、関係者によるテープカットのセレモニーが行われました。式の後には子どもたちや地域の皆さんと共に餅つきを行い、「ヒトハレ」よりぜんざいがふるまわれ、あたたかい雰囲気の開所式となりました。今後も「ひだまり」では、おやつを用意して皆さんのお越しをお待ちしています。

「子どもの居場所 ひだまり」は「日本財団」の助成を受けて運営されています。



テープカット(上)と、餅つき

もくじ

- 1: ヒトハレハウスいっとこ グランドオープン! / 2: 2022年の振り返りと、始動した2023年 / 3: 2022年度災害支援活動報告 / 4~5: 各地域本部の委員会・活動委員会のページ / 6: 天草地域委員会紹介 / 7: こんにちは! ワーカーズです、市民電力関連 / 8: 2022年度 福祉活動組合員基金助成報告会、わたしとグリーンコープ、カタログ回収率報告、休刊のお知らせ、編集者だよ!



グリーンコープ生協くまもと
理事長 小林 香織

振り返ると、2022年はグリーンコープ生協くまもとにとってターニングポイントとなる一年でした。地域化のスタート、カーボンニュートラル、2検体の陽性反応が出た「自生遺伝子組み換えナタネ汚染調査活動」などがありました。

地域化は、4地域本部が2地域本部になり、私たちはこれまでと違う体制や役割に戸惑いながらも、一つひとつ積み重ねていきました。地域本部、地域委員会、地区運営委員会と、それぞれが自分たちの形を作り出し、2023年度を迎えようとしています。各地域本部では、次年度に向けた検討を始めています。いずれ地域組合員の皆さんにもご案内が届くと思いますので、ぜひ、取り組みにご参加ください。

世界的にも問題になっている地球温暖化や気候変動にグリーンコープで取り組んでほしいという、ひろしまの地域組合員の声から、2021年度にカーボンニュートラルの取り組みの提案がされました。この取り組みが組合員に浸透していないことに配慮して、6月の通常総代会では決議ではなく報告とし、10月に臨時総代会を行いました。結果はご報告しておりますが、賛成が多かったものの、規定である半数以上に満たなため否決となりました。しかし、多くの方が地球温暖化や気候変動に対して、何らかのアクションを起こす必要があると思っっているように感じました。その後、くまもととしては、活動組合員一人ひとりがこの取り組みを自分のこととして引き寄せて考えようという新たなスタートを切ることにしました。活動組合員に、カーボンニュートラルに取り組むために「個人でできること」「単協、地域本部、地域委員会、地区運営委員会ができること」のアンケートを取り、結果を共有しています。地域組合員総会では、各地区カーボンニュートラルについて話をされたことだと思います。みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡すために、私

たちができることを大きな視点で考えていきたいと思います。

「自生遺伝子組み換えナタネ汚染調査活動」については、2019年度に自生遺伝子組み換えナタネの陽性反応が検出されたのを最後に、2年間陽性反応のナタネは発見されていませんでした。今年度、2検体が発見され、継続して調査し監視していくことの必要性を改めて感じました。この活動には、県をはじめ行政の方が同行してくださっているところもあります。官民が共に調査をしている例は全国的にも珍しく、全グリーンコープでの報告会にて、行政と行う調査活動を評価していただきました。12月には、山田正彦さんと天笠啓祐さんを講師に招いて、「私たちの食の安心・安全を考えよう！どうなっているの？どうするの？ゲノム編集食品」と題し、対談形式の講演会を開催しました。ゲノム編集トマトが県内で栽培されていることと、ゲノム編集トマトの苗が福祉施設や小学校に無料配布されようとしていることを受けて、ゲノム編集食品について知り、私たちができることを学び、考える機会になりました。

年度当初に、「活動組合員を増やしていくことが課題」と紙面でお伝えしました。両地域本部や各地域委員会で意識して活動し、少しずつですが、活動組合員が増えました。と言いつつも、まだまだ地区運営委員の定数を満たせていません。グリーンコープのことを知りたい、食べもの・環境・福祉に興味がある、お友だちを作りたいなどなど、気軽に活動に参加していただけならと思います。

2023年度に、くまもとで「第18回GM Oフリーゾーン運動全国交流会」を開催することにしました。これからプロジェクトを立ち上げ、詳細が決まりましたら、組合員の皆さんにご案内したいと思います。

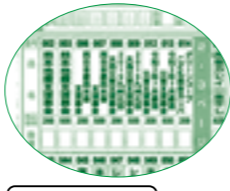


2022年6月3日の通常総代会にて、画面に向かって理事長就任挨拶をする小林さん。

2022年度災害支援活動報告

熊本地震から7年を迎えようとしています。早かった、長かった、それぞれの思いを抱えながら過ごしてこられたことだと思います。また、「令和2年7月豪雨」から今年で3年となります。人吉の町並みは災害の爪痕を感じさせながらも、一步一步復興の歩を進めています。グリーンコープは、発災時から地域の人々に寄り添いながら災害支援を行ってきました。この災害支援は、組合員の皆さんからの支援金によって支えられております。これから災害支援は、地域支援へと変わっていきます。今後とも皆さまの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

グリーンコープ生協くまもと 理事長 小林 香織



▲支援金は、共同購入申込書のこの欄でお願いします



グリーンコープの災害支援センターを中心に、買い物支援や、地域支援活動に取り組んでいます。また各地域本部でも、組合員活動として被災地に寄り添い、さまざまな支援活動に取り組まれました。

熊本地震

「いくばい！ふれあい元気カー」による買い物支援



今もなお益城町や南阿蘇村、熊本市の南区や東区、甲佐町など曜日を決めて、見守りを兼ねた訪問を続けています。「元気カー」が来るのを楽しみにされている方も多くおられ、先日は「毎週この時間をすごく楽しみにしています」と言われて、たくさん購入いただき大変嬉しくなりました。地域によっては、店もなく移動販売も来ないため、高齢者には本当に不便な所などもあり、「元気カー」は貴重な存在です。

支援活動・地域支援活動

東地域本部では、元惣領・元広崎仮設や、地域の方たちに声を掛け、「ましきスマイルいきいき館」にて“ご近所カフェ”をルミエールプロジェクトメンバー主催で開催し、モッツアレラチーズ作り、トールペイント教室、おまんじゅう作り、みそ作り、餅つきなどを、災害支援センターと協力して行いました。メンバーは固定してきており気軽に会話ができる雰囲気、楽しみに参加されていました。

また、災害支援センターの方を中心に東無田地区の畑でひまわりの種まきやジャガイモ収穫をしました。



被災地は、人吉球磨、芦北町など広範囲に亘っています。熊本地震の被災地訪問同様、曜日毎に訪問地域を決めて「ワーカーズコレクティブヒトハレ」による見守り活動を兼ねた移動販売を行っています。また、写真洗浄については、「ましきスマイルいきいき館」にて「あらいくま熊本」と協力しながら、定期的に取り組まれました。

「令和2年7月豪雨」

「元気カー」による買い物支援



仮設団地では一人暮らしのご高齢の方、足腰の悪い方のご自宅前に「元気カー」を駐車しています。



皆さん雪の降る中でも、「寒いね」と話しながらお買い物にいられます。「あなたたちも気を付けて行ってね」と、嬉しい言葉もいただきました。

写真洗浄の取り組み

写真洗浄を通して復興支援をされている「あらいくま熊本」と連携を取り、被災された方の手元に1枚でも多くきれいな



になった写真をお返しできるように、想いを込めて1枚1枚丁寧に作業を続けてきました。この度2月13日の作業で全て終了しました。ボランティアに参加してくださった皆さん、ご協力ありがとうございました。



2022年度 西地域本部福祉講演会

福祉委員会

「LGBTQ講演会」を開催しました

2022年11月30日(水)、講師に曾方晴希さんをお迎えし、ハイブリッド形式で開催しました。(参加者…会場6人、オンライン51人)

「LGBTQ+」とは、セクシュアルマイノリティ(性的少数者)の頭文字「レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニング」と+ (プラスアルファ) を付けた通称の1つです。クエスチョニングは、自身の性自認や性的指向が定まっていない、もしくは意図的に定めていないセクシュアリティを指し、+ (プラスアルファ) は他にもさまざまなセクシュアリティがあることを示すために付けられています。

今回、LGBTQ+について改めて知り、また考える機会となりました。まだまだ日本では、LGBTQ+について知らない人も多く、制度も整っておらず、当事者の方々にとって、とても生きづらい世界になっていることは確かです。曾方さんがカミングアウトされた時の気持ちが、細やかに変化するとお聞きして涙が出ました。LGBTQ+というと難しいと感じがちですが、大切なことは、人との繋がりや理解だということが分かりました。



曾方さん私物のマスコット、レインボーベア

LGBTQ+も1つの個性だと思います。もしかしたら、知らず知らずのうちに周囲の人を傷つけていることもあると思います。

からかいやいじめ、いじりなどを笑ったり見すごしたりせず、またそのような状況を不快だと表現したり、想像できる人になりたいと思います。「もしかしたら」「かもしれない」という



優しい心を持って、皆が生きやすい共生社会になるように歩み寄っていきたいです。

商品おすすめ委員会

1月26日(木)、商品おすすめ委員会メンバーで

★(株)山一へ行ってきました★

HACCP^ハ(^サ承認)取得された新工場は、とても清潔で従業員の皆さんも衛生管理を徹底されていました。当日は「かつおパック」と「混合削りぶし」の製造の様子を見学しました。削りぶしの良い香りが工場中にあふれていましたよ～♪

※ HACCP…食品製造における衛生管理方法を設定し、食品の安全を確保する制度です。



かつおパックを検品中



熊本市西区春日にある工場前にて

「かつおパック」と「混合削りぶし(さば・いわし・あじ)」

グリーンコープの削りぶしは、こだわりの削りぶしです！袋を開けた瞬間に良い香りが漂い、口当たりも良く味も抜群ですよ！お出汁をとるのも最高！ご飯と混ぜておにぎりにしても最高！和え物に振りかけて手軽に楽しむのも最高です！！



～つばい自然庵・しらかわ自然庵を視察しました～

福祉活動委員会

2月3日(金)、福祉活動委員会で視察に行き、当日は自然庵スタッフの方々が組合員を心地よく迎え入れていただきました。エレベーターや入口には歓迎の札が掛けてあり、穏やかな雰囲気に包まれました。

つばい自然庵(熊本市中央区坪井)は小規模で和風で木の香りがする落ち着いた空間で、穏やかに過ごすことができる空間だと思いました。しらかわ自然庵(熊本市中央区黒髪)は大きい施設ながらも、小規模の葬儀にも対応されており、細やかな心遣いが垣間見えました。

最後に渡辺美智子社長よりお話があり、「組合員の想いに寄り添った葬儀を心掛けていることと、送る人送られる人が納得して心地良く過ごしていただけることを心掛けています」とおっしゃいました。

私たち組合員が安心して相談できる場があるということをもっと組合員に周知すると共に、グリーンコープ内でくまもとだけの協働事業という有難い環境に感謝したいと思います。

福祉活動委員長 廣末 信代



手書きの書から伝わってくるおもてなしの心に癒されます！

キャンドルナイトの取り組みを行いました

環境活動委員会

東地域本部では、理事・委員が冬至の12月22日(木)に、キャンドルナイトを各家庭で行いました。

日々あたりまえに思っている生活は、たくさんのエネルギーを使います。

この日は電気を消して、手作りのろうそくで自然な灯りを楽しみました。

すぎなみ地区環境活動委員 合志 千恵



※キャンドルナイトとは

「カナダ発の(エネルギー消費社会への警鐘を込めた)自主停電運動」

夜8時から10時までの2時間電気を消して、キャンドルに灯をともします。

東地域本部では毎年、夏至と冬至、そして東日本大震災の起きた3月11日に取り組むことにしています。

商品おすすめ活動委員会



一年を振り返って



今年度は対面での活動も増え、組合員はもちろん、生産者やメーカーの方々とも交流を深めることができ、本当に良かったです。

はちみつ学習会では、いろいろな種類のはちみつを試食して美味しさを共有し、化粧品学習会では、その場で使ってみることで商品の良さを改めて実感しました。また、お店で開催した産直豚肉学習会では、美味しい焼き方(食べ方)をメーカーの方に実演してもらい、改めて、産直豚肉の美味しさの秘密などたくさんの学びがあり、楽しく活動できました。

次年度も和気あいあいと楽しく取り組みたいと思います。

商品おすすめ活動委員長 遠藤 千枝

こんにちは!ワーカーズです

子どもが生まれた翌年の「いっしょ」に参加し、すぐに活動委員となったのは、今から35年位前だったでしょうか。それからは毎月の地区運営委員会や商品やせつけん、平和についてなどたくさんのお話を学び、気が付けば、大好きなグリーンコープ商品に囲まれたお店で働くワーカーになった私がいまも。くまもとは5つの店舗があり、毎日地域の組合員さんに利用していただいておりますが、最近では安全な食べものを求めて加入され、キープを利用される方が増えました。また、女性も働く時代となり、夕方近くには商品の受け取りでも賑わうようになり、担当ワーカーとの会話が弾んでいる様子が見られるようになりました。これからも地域の皆さんに愛されるお店になれるようにと願います。



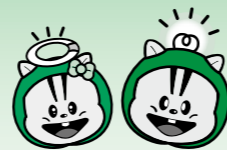
企業組合
ワーカーズ・マミー
平成さくら通り店
店長
織田 靖子

平成さくら通り店は、組合員のお店として多くの方に支えられ、営業開始から14年目を迎えます。今回、経年劣化による不具合がたびたび発生していた冷蔵ショーケースの入れ替えを行いました。新しいショーケースは、CO₂冷媒を使った環境配慮型の冷蔵庫です。新しくなった平成さくら通り店へ、ぜひ、お出かけください。

熊本市南区馬渡1-9-5 ☎096-379-3919
営業時間…10時～19時（日曜・祭日も営業）
キープ……12時～18時30分（月～金）



2022年度「グリーンコープでんき」のまとめ



原子力発電所は「いのち・自然・くらし」を脅かすもの。グリーンコープは原子力発電所のない社会の実現をめざし「グリーンコープでんき」の利用を広げよう（仲間を増やそう）と、2022年度グリーンコープ生協くまもとでは年間100件を目標に取り組みできました。

1月14日現在、「グリーンコープでんき」に新たに19件加入いただきました。2016年からの累計で761件となっています。2022年度は、ロシアによるウクライナ侵襲によるエネルギー不足や価格高騰の影響もあって「グリーンコープでんき」を推進することが難しい1年でした。

2023年度は、人の手に負えない放射性物質を排出する原子力発電所や、二酸化炭素を排出する石炭火力発電所などの電気を使っていない、「グリーンコープでんき」を更に広げたいと思います。

「子どもたちに原発のない社会を！」脱原発社会の実現に向けて引き続き取り組みます。どうぞよろしくお願いいたします。

「グリーンコープでんき」担当常務 高田 幸

「グリーン電力出資金」 グリーンコープ生協くまもとの 出資状況

2/27現在	125,782,000円
目標	316,533,186円

「グリーンコープでんき」 グリーンコープ生協くまもとの 申込状況

2/27現在	767件
2022年度目標	1,000件

「グリーンコープでんき」 申込書請求は…

共同購入申込書の特別申込（4桁記入）欄に申込番号 **3995** と数量を記入し、ご提出ください

シリーズ企画

地域委員会を紹介します♪

2022年度より、グリーンコープ生協くまもとの8つの配送センター（玉名・鹿本・西部・松橋・県南・天草・東部・北部）毎に、地域の組合員・ワーカーズ・職員が集まり、地域委員会を開催しています。今回は、西地域本部の天草地域委員会を紹介します。（2月17日取材）

天草地域委員会



構成メンバー紹介



地域委員長（天草地区運営委員会委員長との兼任）、地域副委員長（商品おすすめ活動委員長・環境活動委員長）、天草地区副委員長、天草センター長、配送ワーカーズ天草レインボー、天草センター総括者、組合員事務局（オブザーバー）、西地域本部総括者の10人で構成。（天草地区委員がオブザーバー参加）

会議の様子

会場は天草センター内の会議室。地域委員会に参加する地区は天草地区のみです。地域委員長は地区委員長との兼任で、地域委員会終了後に引き続き地区運営委員会を行うため、地域委員会開催中に別室のキッチンで試食の準備を行い、準備が終わると地区委員の皆さんもオブザーバーとして参加しました。

商品おすすめ活動委員長から、グリーンコープの産直青果生産者である「やまなし自然塾」とのオンライン交流会の報告がありました。「生産者が頑張って栽培されている様子がわかり、地域の皆さんにアピールしていきたい」という感想と、「桃の産毛もよく洗うことで皮ごと食べられる」と、おすすめの食べ方を紹介しました。環境活動委員長からは、地域組合員総会の参加者に配布した「GREEN エコノート～たのしくは始める環境家計簿～」を、カーボンニュートラルの取り組みの1つとして推進していくことなどを報告しました。業務関係報告の中で「（予約）産直四つ葉玉ねぎ」の取り組みでは、「配送系ワーカーズでは天草が1位！」との報告に、参加者一同「おお～」との声と共に拍手で喜び合いました。また、仲間づくりを目的に郵便局内の空いたスペースをお借りして行う「郵便局イベント」については、参加いただいた方の中から、お2人が加入されたとの報告があり、次回の開催に向けて機運が高まっている様子でした。



地域副委員長の柴田さん（左）とセンター長の橋本さん（右）



天草レインボー松尾さん（右）とセンター長の橋本さん（左）

2022年度天草地域委員会活動方針

- 仲間づくりを進めます。
 - 地区の活動委員が増えるような取り組みをします。
 - 新規加入者へグリーンコープの良さを伝えます。
 - 職員、各ワーカーズと連携し、仲間を増やします。
- 利用普及に取り組みます。
 - 産直5品（びん牛乳、米、青果、たまご、肉）を中心に食べもの運動を推進し、グリーンコープ商品の利用普及に取り組みます。
 - 産直交流活動を通し、生産者との顔の見える関係作りを進めます。
- せつけんの利用を呼びかけます。
- 地域組合員の声を大切にします。
 - 地域委員会、地区運営委員会から地域組合員への情報発信（広報誌など）し地域組合員とのつながりを充実させます。
 - キープ&ショップが地域の拠点となるよう、職員、ワーカーズと共に取り組みます。



会議の様子

地域委員長の森ひとみさんに聞きました!

2022年度は、みかん招待園やグリーングラフなどの取り組みに参加された方を中心にお声掛けして、地区委員を増やすことができました。上天草地域に準地区をつくるという「夢ヲかたちに」するために、次年度もワーカーズ・職員と連携して取り組みたいと思います。



天草地域委員会エリアには、天草センター内にキープ&ショップ（キープ RAINBOW 元気くん家）があります。また、福祉施設として、デイサービスセンターゆるりの家・天草があります。



2022年度 福祉活動組合員基金助成報告会 ～100円からはじまる笑顔のものがたり～



2月16日(木)、3年ぶりの“リアル”による報告会が「くまもと森都心プラザ」で開催されました。

基金の概要について基金運用委員長の入江真理子さんが説明した後、生協および社福グリーンコープ・ワークーズの助成報告に続いて、地域の助成団体および個人(全14団体)からの活動報告が、限られた時間の中で丁寧に行われました。

それぞれの団体からは、助成により充実した活動ができてきている様子の報告と、基金に対するお礼の言葉が述べられました。会の最後には、入江委員長が「報告を聞いて、『夢ヲかたちに』という検討から数十年経って、この様に夢がかたちになってきたのだと感じました。今後さらに夢がかたちになってくれたら…と思います」と述べられ、報告会を閉会しました。

グリーンコープ生協くまもと
カタログ回収率

1月分

39.3%

回収した
カタログの重さ
29,450kg

↓
6ロール入り
トイレットペーパー
9,816袋分

どんとカタログを出しましたよ

わたしとグリーンコープ



西地域本部

玉名北地区運営委員会

委員長 橋本 佐知子

今までも、これからも…

妊娠中に立ち寄った郵便局で、びん牛乳を試飲した時の「何、これ!?!」という驚き。オレンジジュースのおいしさ。そのまま、「赤ちゃんすくすく個配」を申し込みました。出産後、引きこもりがちだった私は「子育てサークル」に入り託児を利用できたので、いろいろな取り組みに参加させてもらい、情報や人との繋がりを持つことができました。肌が弱かった娘のためにせっけんを使うことにし、環境活動委員会に入りました。今は地区委員長をしながら、さまざまなことを学ばせていただいています。

グリーンコープ商品を食べ育てた娘は小学生になりましたが、給食の牛乳は何か違うと言います。市販品や外食の時もそう言ったりするので、きちんと味覚が育っているようで嬉しくなります。これからも家族みなでお世話になります。

◆休刊のお知らせ◆

いつも「グリーンたいむ」をご購読いただき、ありがとうございます。
2023年度「グリーンたいむ」は、リニューアルするために4月号からしばらく休刊します。
新しくなる「グリーンたいむ」に、どうぞご期待ください。よろしく願っています。
グリーンコープ生協くまもと 理事長 小林 香織

もしもし電話コーナー



お金の問題で困っていませんか?
まずはお電話下さい
生活再生相談室
☎096-243-2100

開設曜日…月曜～金曜
第3週は月曜～土曜
開設時間…9時30分～18時

生活まるごとなんでも相談できます
ふくし情報でんわ
☎0120-540-294

開設曜日…月曜～金曜(祝日は休み)
開設時間…10時～16時
携帯電話の方は096-337-7226

**グリーンコープ
葬祭サービス**
24時間受付・年中無休
☎0120-222-782

「自然庵」との協働事業です。葬儀だけではなく、相続問題やお墓、供養、法事についての相談なども受け付けています。

GREEN
くらしアップ情報誌「くまもと」
☎0120-51-8141

襖や畳の張り替え、引越など、お気軽にお問い合わせください。
受付時間…9時～17時30分



桜の花が咲き、入学・新学期の季節になりますね。新しいことにチャレンジする方も多いと思います。私も「いくつになっても学ぶことばかり!」と、仕事ができる環境に感謝しています。

情報の多さについていけないこともあります。が、「チャレンジにミスは付きもの」と開き直り、みんなに助けられていながら学び、もう少しだけ楽しんで頑張ります♡

(緒方)

発行 グリーンコープ生活協同組合くまもと

発行責任/理事会
編集/広報室
発行所/〒860-0056

熊本市西区新土河原2丁目1-1
☎096-324-8118(代)
FAX 096-324-8123

印刷所/ホープ印刷機

■東地域本部 26,085人

■西地域本部 38,979人

合計 65,064人

(2月22日現在店舗組合員を含む)

グリーンコープ生協くまもとのホームページ (<http://greencoop-kumamoto.jp/>) に最新情報更新中! ぜひアクセスしてください。携帯電話は、こちらのQRコードよりアクセスできます。➡

